

VMware vCloud Air Virtual Private Cloud OnDemand

Q：Virtual Private Cloud OnDemand について教えてください

A：VMware vCloud® Air™ Virtual Private Cloud OnDemand は、業界をリードする IaaS（サービスとしてのインフラストラクチャ）です。仮想 CPU、vRAM、ストレージ、ネットワーク、IP、サポートを、ユーザー自身が指定して利用することができます。料金は、サービスのご利用分に応じて課金されます。利用登録をしてこれらのリソースにオンラインでアクセスするために必要なものは、クレジットカードのみです。事前にリソースを契約したり、先行コストが発生したりすることはありません。料金はリソースの使用量（分単位で計測）に応じて発生し、1 か月ごとに請求されます。

Q：このサービスを利用するとどのようなことができますか

A：必要なリソースを自由に組み合わせて、新しい仮想データセンターおよび仮想マシンを作成し、管理することができます。コンピューティング、RAM、ストレージの容量やパブリック IP は必要に応じてユーザー自身がプロビジョニングできます。また、さまざまなオペレーティング システムやアプリケーションに対応しているため、それらを引き続き使用できるというメリットもあります。

Q：Virtual Private Cloud OnDemand に最適なユース ケースを教えてください

A：Virtual Private Cloud OnDemand のユース ケースや使用目的をいくつかご紹介します。

- IT リソース予算の障害となる要因を排除し、開発およびテスト環境をすぐに拡張
- 一貫性がなく予測が難しいキャパシティのニーズや季節変動のあるワークロードに対処
- セルフ サービスや応答時間の短縮を求めてクラウドを導入しているビジネス部門とアプリケーション開発者の開発運用のニーズに対応
- 既存のアプリケーションを拡張し、オンプレミスの有用なリソースを解放
- 最近発生したディザスタ リカバリ案件に起因する、ビジネス継続性の緊急課題やニーズに対応

Q：Virtual Private Cloud OnDemand はどの国で提供されていますか

A：Virtual Private Cloud OnDemand は、米国および英国でご利用いただけます。

導入方法

Q：Virtual Private Cloud OnDemand の利用登録をするにはどうすればよいですか

A：クレジットカードがあればすぐにオンライン アカウントを登録して、Virtual Private Cloud OnDemand サービスの利用を開始できます。インフラストラクチャの購入にクレジットカードを使用できない場合は、新しい Subscription Purchasing Program (SPP) をご利用ください。詳細については、<https://my.vmware.com/jp/web/vmware/spp-landing> をご覧ください。

登録が完了したら、仮想マシンを数分で構成できます。注文書の処理に何時間も何日も費やす必要はありません。詳細については、<http://vcloud.vmware.com/jp/service-offering/virtual-private-cloud-ondemand> をご覧ください。

Q：AWS や Microsoft Azure など、他社のサービスとの違いについて教えてください

A：IaaS プロバイダ各社が提供する主な機能には多くの共通点がありますが、VMware はいくつかの点で他社との差別化を図っています。

- ハイブリッドに完全対応：ハイブリッド プラットフォームによりデータセンターの拡張を実現し、仮想マシンの変換を必要としません。拡張性の高いシームレスなネットワークを提供します。既存のアプリケーション、新しいアプリケーションのどちらにも最適化されています。さまざまな管理ツールやプロセスに対応しています。
- 構成可能：CPU、メモリ、ディスクについて必要な容量を指定し、仮想マシンの最適なサイズを選択できます。あらかじめ定義されたサイズの中からしか選択できない、ということはありません。また、実行中の仮想マシンに、仮想 CPU、メモリ、ディスク容量をいつでも追加できます。
- 高い処理能力：使いやすい Web ポータルに加え、業界をリードする高度な機能が必要とするパワー ユーザー向けに vCloud Director® が初めから統合されています。たとえば、仮想マシンへの割り当ての上限、ユーザー用のパスワードポリシー、アクティビティ ログ、現在実行中のタスクのリスト、アプリケーションやネットワークのグラフ表示の設定などが可能です。

Q：Virtual Private Cloud OnDemand と、サブスクリプションベースの類似するサービスである vCloud Air Dedicated Cloud (専有型クラウドサービス) および vCloud Air Virtual Private Cloud (共有型クラウドサービス) との違いは何ですか

A：Virtual Private Cloud OnDemand は次の点が異なります。

- 契約不要で、従量課金制を採用しており、先行コストがかかりません。
- リソースをセルフ サービスでプロビジョニングでき、利用した分のみが課金対象となります。
- 必要に応じていつでもデータセンターのプロビジョニングができます。
- 計測されたリソース使用量に対して、請求書が毎月発行されます。
- クレジット カードまたは Subscription Purchasing Program (SPP) でお支払いいただけます。

購入

Q：価格について教えてください

A：利用料金は分単位で課金され、実際の使用量に基づいて毎月ご請求させていただきます。クラウド環境を構成する際の料金設定については、<http://vcloud.vmware.com/jp/service-offering/pricing-calculator> をご覧ください。1 時間あたり 0.03 米ドルから仮想マシンをご利用いただけます。

Q：購入者に対する特典やサービスはありますか

A：はい。新規に購入されるお客様には、ご登録時に 300 ドルのサービス クレジットを進呈しています。詳細については、vcloud.vmware.com/jp/ をご覧ください。また、ご登録の際は、<http://vcloud.vmware.com/jp/service-offering/virtual-private-cloud-ondemand> にアクセスしてください。

Q：既存の仮想マシンやデータのインポートに対してコストはかかりますか

A：現在、Virtual Private Cloud OnDemand サービスに既存の仮想マシンやデータをインポートする場合にかかるネットワークコストはありません。これらの仮想マシンやデータの関連コストは、Virtual Private Cloud OnDemand 環境にインポートしたあと、その環境内で利用したリソースに対してかかるコストのみです。

Q：VMware パートナーからこのサービスを購入することはできますか。できる場合、どのパートナーがサービスを提供していますか

A：Virtual Private Cloud OnDemand サービスは、VMware または VMware のパートナー エコシステムのどちらからでもご購入いただけます。VMware から直接ご購入いただく場合は、サブスクリプション購入プログラム (SPP) のクレジットを利用するか、クレジット カードを使用してください。

Q：請求日と請求方法を教えてください

A：毎月、サービスの利用開始日と同じ日付が請求日となります。サービス開始日は My VMware ポータルで確認できます。請求日に 1 か月分のサービス利用料金を計算し、利用可能なクレジットがあればそれを適用いたします。クレジットの残高が利用料に満たない場合は、その差額をご指定のクレジット カードまたは SPP のクレジットに請求させていただきます。

Virtual Private Cloud OnDemand の使用

Q：vCloud Air へのアクセス方法を教えてください

A：vCloud Air は、<https://vca.vmware.com> のポータル (英語)、vCloud Director、vCloud API (https://www.vmware.com/jp/support/pubs/vca_pubs.html からドキュメントを入手可能)、または PowerCLI を使用してアクセスできます。また、最新版の vSphere Hybrid Cloud Manager がまもなく提供開始となる予定です。

Q：API の使用に関する専用のサポートはありますか

A：API 用のサポートは、vCloud Air のコミュニティに投稿されるディスカッションやドキュメントを通じて展開しています。コミュニティには次の URL からアクセスできます。
<https://communities.vmware.com/community/vmtn/vcloud-air> (英語)

Q：キャパシティの上限または使用量の制限を教えてください

A：vRAM 240 GB、仮想 CPU 35 GHz、ストレージ 2 TB、パブリック IP 20 個が現在の上限です。

Q：アラートを設定して、最新の使用量が通知されるようにすることはできますか

A：はい。My VMware® のセルフ サービスを利用して、使用量がしきい値に達した場合の通知を生成することができます。

Q：高度な監視機能や自動拡張機能はありますか

A：近日中に、監視、ログの作成、アラート、拡張など、vCloud Air の新しい機能がリリースされる予定です。

Q：米国以外の地域でもこのサービスを利用できますか

A：はい。米国輸出規制により定められた輸出禁止国以外の国にオフィスを持つ企業であれば、このサービスを購入し、利用することができます。

Q：法的ポリシーおよびプライバシー ポリシーについて教えてください

A：vCloud Air サービスに適用される法的ポリシーおよびプライバシー ポリシーは、サービス利用規約でご確認いただけます。vCloud Air に関する最新のサービス利用規約およびプライバシー ポリシーについては、次の Web サイトをご覧ください。
vcloud.vmware.com/jp/legal

Q：提供されているセキュリティ、コンプライアンス、および認定について教えてください

A：vCloud Air のセキュリティ、コンプライアンス、および認定に関する情報については、次の Web サイトをご覧ください。
<http://vcloud.vmware.com/jp/service-offering/cloud-compliance>

Q：Virtual Private Cloud OnDemand サービスで利用できる追加機能にはどのようなものがありますか

A：VMware vRealize™ Automation™、vRealize Operations™、および vCloud Connector® と互換性があります。さらに、2015 年には VMware vSphere® プラグインや Data Protection などの機能も追加される予定です。

Q：Virtual Private Cloud OnDemand と vCloud Air サブスクリプション サービスの両方を同時に利用することはできますか

A：はい。両方のサービスをご利用いただけます。どちらも My VMware ポータルで課金情報を確認し、一元的に管理できます。ただし、この 2 つのサービスのリソースを組み合わせることはできません。

Q：利用可能なサポートの種類と、その利用方法を教えてください

A：Virtual Private Cloud OnDemand には、オンライン サポートとプロダクション サポートの 2 種類をご用意しています。どちらも、リソースの使用率に応じて課金されます。Virtual Private Cloud OnDemand サービスのオンライン サポートは、Web および E メールで提供しています。オプションのプロダクション サポートは、Web および電話でご利用いただけます。利用登録時にサポートのタイプを選択しますが、必要に応じて My VMware ポータル経由で別のサポート タイプに変更することも可能です。サポート オプションの詳細については、<http://www.vmware.com/jp/support/services/ondemand-online-support> をご覧ください。

